

課題No. 2

「北浦梨」産地の活性化に向けた、 ICT活用による栽培の「見える化」

計画期間:

令和6年度～令和8年度

対象名及び対象者数:

JA新みやぎ北浦梨部会若手生産者1人、役員等3人(部会員35人)、
株式会社ファームおてんとさん栽培担当者2人



●課題の背景



- ・美里町は県内有数の日本なし産地で、「北浦梨」は大正時代から続く特産品。
- ・令和5年4月現在の栽培面積は約10haで、生産者は約40人。
- ・自宅敷地内に園地がある生産者が多く、経営継承は主に家族・親族間が多い。

→令和3年に(株)ファームおてんとさんが継承・新規参入し、産地の維持・発展に向けた新たな形が生まれた。

産地の活性化には、ベテラン生産者や関係機関による若手生産者や後継者への栽培技術継承・定着に向けた仕組みづくりが重要！



●課題の背景

- ・気候変動に伴う気象災害や、病害虫発生・防除時期の前進や延伸が生じている。
→園地ごとの気象データや病害虫発生状況の把握が必要。



左：凍霜害（蕾）、右：正常



左：凍霜害（落花期～幼果期の花そう）、右：正常

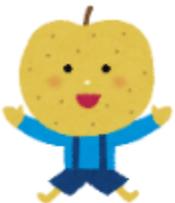
同じ「北浦」なのに…？



●課題の背景

- ・気候変動に伴う気象災害や、病害虫発生・防除時期の前進や延伸が生じている。
 - 園地ごとの気象データや病害虫発生状況の把握が必要。
- ・ベテラン生産者の多くは、栽培管理作業を感覚的に行っている。
 - 栽培管理技術の早期習得や経営改善・継承、生産者間の比較には、電子データでの記録・整理・蓄積が必要。

ICTを活用した管理手法を確立し、産地の活性化を図る！



●活動事項



1 栽培環境の「見える化」支援

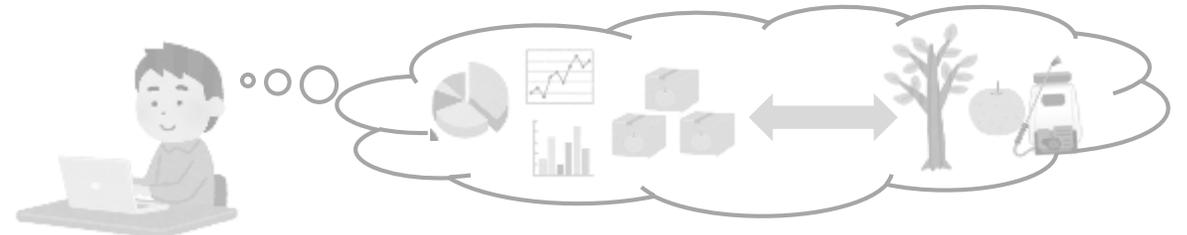
- ・ 気温、湿度、風量等の気象データ収集展示ほの設置（データロガー等の設置・分析）

2 病虫害発生時の「見える化」支援



- ・ シンクイムシ類等の発生消長確認に係るフェロモントラップの設置・調査
- ・ 情報交換ネットワークづくり等

3 経営の「見える化」支援



- ・ 経営管理の記録及び振り返り支援、経営管理講座の実施等

●活動事項

1 栽培環境の「見える化」支援

- ・ 気温、湿度、風量等の気象データ収集展示ほの設置（データロガー等の設置・分析）



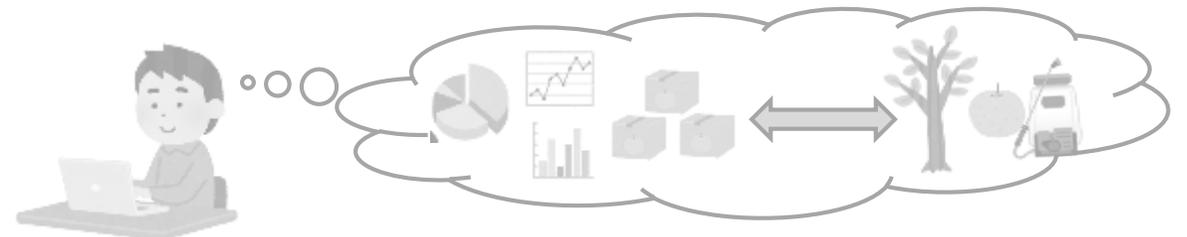
2 病虫害発生時の「見える化」支援

- ・ シンクイムシ類等の発生消長確認に係るフェロモントラップの設置・調査
- ・ 情報交換ネットワークづくり等



3 経営の「見える化」支援

- ・ 経営管理の記録及び振り返り支援、経営管理講座の実施等



●活動事項



1 栽培環境の「見える化」支援

- ・ 気温、湿度、風量等の気象データ収集展示ほの設置（データロガー等の設置・分析）

2 病虫害発生時の「見える化」支援



- ・ シンクイムシ類等の発生消長確認に係るフェロモントラップの設置・調査
- ・ 情報交換ネットワークづくり等

3 経営の「見える化」支援



- ・ 経営管理の記録及び振り返り支援、経営管理講座の実施等

●期待される対象の変化

- 栽培環境や栽培管理を電子データで「見える化」して記録し、若手生産者を含むJA部会内等で情報共有や活用が行われるようになる。
- 若手生産者等が「北浦梨」生産にかかる収支状況を把握し、経営管理が行われるようになる。

●成果目標

- ICTデータ活用項目数

令和6年度：0 → 令和7年度：3 → 令和8年度：4

●令和6年度の成果目標

- 園内の気象経過や病害虫発生状況等を把握し、栽培管理とあわせて電子データで「見える化」して記録・情報発信できるようにする。
- 若手生産者等の経営管理に関する基礎知識が習得される。

●成果目標

- ICTデータ活用項目数

令和6年度：0 → 令和7年度：3 → 令和8年度：4

●令和6年度・これまでの活動

1 栽培環境の「見える化」支援



環境測定機器「ファーモ」



データロガー「おんどとり」

●令和6年度・これまでの活動

1 栽培環境の「見える化」支援



※環境測定機器「ファーモ」モニタリングアプリ画面
(一部加工)



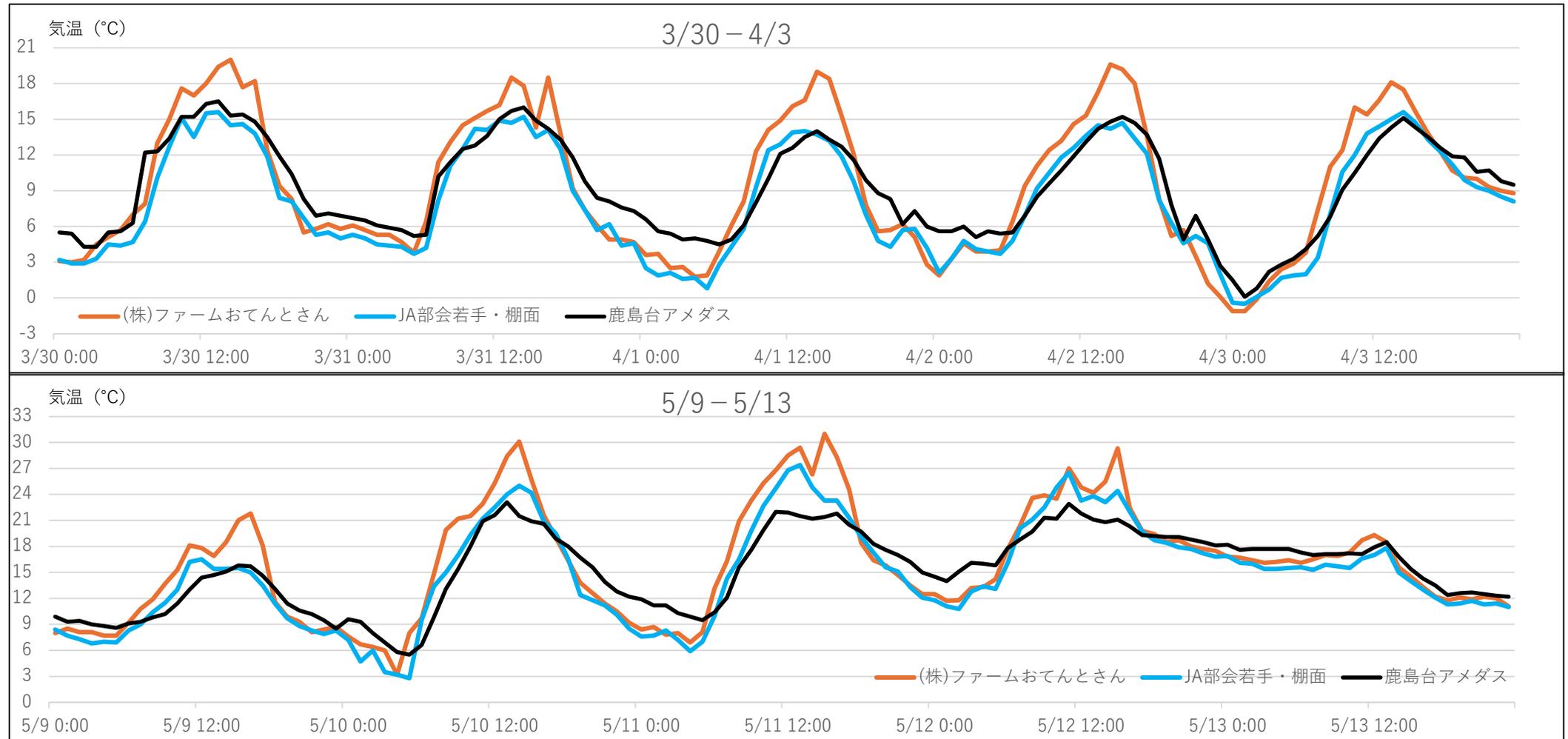
● JA部会若手生産者園地

● (株)ファームおてんとさん園地

● 鹿島台アメダス

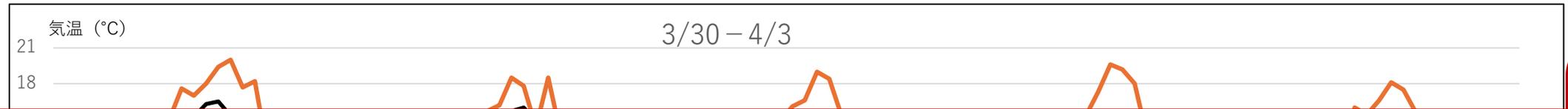
●令和6年度・これまでの活動

1 栽培環境の「見える化」支援



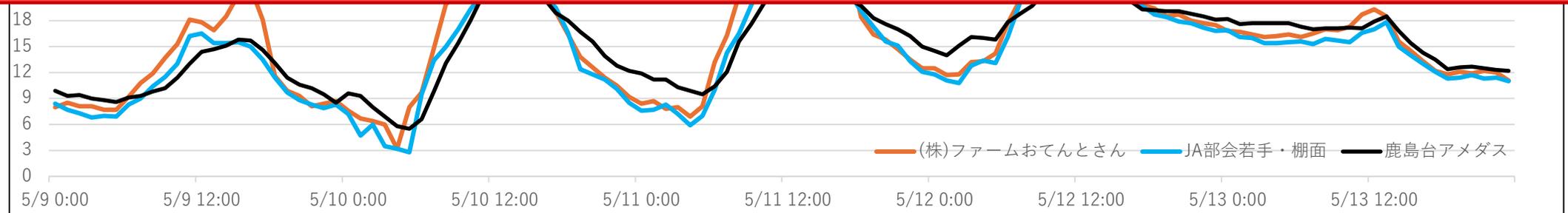
●令和6年度・これまでの活動

1 栽培環境の「見える化」支援



アメダスデータ及び両園地間で、
気象経過が異なることが確認できた！

→ 園地ごとの測定・記録が重要



●令和6年度・これまでの活動

2 病害虫発生「見える化」支援



フェロモントラップの全景



調査前の粘着版



ナシヒメシンクイ

●令和6年度・これまでの活動

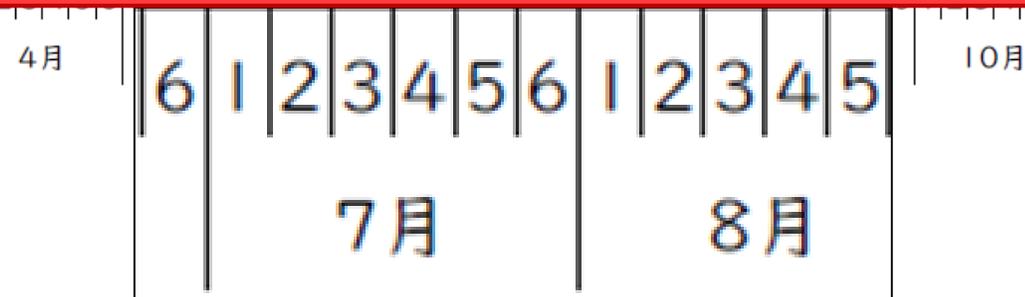
2 病害虫発生「見える化」支援

参考：りんご園地（慣行防除、2016～2018年の平均）

R6発生消長調査

気温によって、越冬世代成虫の発生時期や、
1世代の経過日数は異なるとされている。

→ 当年の発生消長の把握・情報共有が必要



●令和6年度・今後の活動予定

- データ収集、分析の継続
- 情報受発信体制の整備
- 経営管理セミナーの開催及び参加誘導

ご清聴ありがとうございました！

